

# 中古車査定 サポートガイド

チェックポイントを忘れた時に参考にしていただくテキストです。

具体的な確認方法など技術的な部分は本編動画をご覧ください

各種実地研修を受講したり参考資料をご入手ください。

## 【外観を見る】

### 1、外観全体を観察

■まず車のまわりを一周してみましょう

- ・全体的にすっきりしているか（何か違和感を感じないか）
- ・車体が傾いて見えないか
- ・各パネル面の塗装に不自然な点がないか
- ・部分的な変色や退色が無いか
- ・違法改造部分がないか

### 2、前面を観察

■車に少し近づいて前回りを重点的に確認します

- ・左右を見比べて違和感がないか
- ・例えばボンネットとフェンダーの隙間が右と左で違う
- ・例えばヘッドライトが片側だけ新品になっている
- ・ナンバープレートが波打っている
- ・バンパーの塗装だけがやたらと綺麗

などから前回の修理跡を推測していく事が出来ます。

### 3、側面を観察

■側面はプレスライン、立て付け、パネルの変色等を確認します

- ・フェンダーとドア、フロントドアとリアドアの立て付けに異常はないか
- ・ドア付近のプレスラインが崩れていないか
- ・ドアに映り込んだ白線や他の車がおかしく見えないか

などから側面の修理跡を推測していく事が出来ます

### 4、後面を観察

■後ろはリアゲートやトランクとフェンダー、テールランプの立て付け部を重点的に確認します

- ・トランクやリアゲートとリアフェンダーの隙間が上から下まで一定か
- ・テールランプが片側だけ新品になっていないか
- ・ナンバープレートの封印を触った跡がないか

等から修理跡を推測していく事が可能です

### 5、ルーフを観察

■ルーフはピラーとの溶接部を重点的に確認します

- ・大きなへこみや塗装跡が見られないか
- ・ピラーとの節後部に再溶接跡が見られないか

確認しましょう。

※前面、側面、後面そしてルーフの外観部をそれぞれよく観察し違和感を感じたり、修理跡と思われる部分を発見した場合は、その周辺の骨格部をしっかりと確認していきましょう

## 【中を見る】

### 1、前部を観察

■ボンネットを開けてエンジンルーム内を観察します

- ・各部取付ボルトが緩められた痕跡がないか
- ・エンジンルーム内の一部分だけがやたらと綺麗な個所が無い
- ・ボルトやラバー、ホース類などに塗料が付着していないか
- ・ダッシュパネル、左右インサイドパネルに钣金跡やシーラーの乱れがないか
- ・エンドパネルにも歪みや钣金跡がみられないか

確認をしていきましょう

### 2、側面を観察

■ドアを開けて脱着痕や骨格部（ピラー、サイドシル）を観察します

- ・ドア取り付け部ボルトを緩めた跡がないか
- ・ドアのふち部分のシーラーに乱れがないか
- ・各接合部分に異常（再溶接跡やスポット溶接跡の乱れ）はないか
- ・フレーム修正機の使用跡（クランプ跡）が見られないか

確認していきましょう

### 3、後部を観察

■トランク、リアゲートを開けて後室内を観察します

- ・各部取付ボルトが緩められた痕跡がないか
- ・トランクルーム内の一部分だけがやたらと綺麗な個所が無い
- ・インサイドパネルやトランクフロア内に钣金跡やシーラーの乱れがないか
- ・エンドパネルにも歪みや钣金跡がみられないか
- ・ゴム部分を外してスポット溶接の打ち直しやクランプ跡がないか

を確認しましょう

※トランクフロア部に水がたまった跡や、汚泥臭を感じる場合は冠水歴を疑う必要があります

## 【室内を見る】

■室内の要チェックポイントは以下の通りです。

- ・チェックランプの点灯の有無と走行距離
- ・ホーン、パワーウインドの動作
- ・エアコンの動作（冬場の冷房確認は忘れがちなので注意が必要です）
- ・ナビの動作と付属品（地図データ DVD やメモリーカード）の有無
- ・シートとフロア面の汚れやへたり、穴あき、動物の抜け毛など
- ・室内の異臭の有無（異臭がある場合は何の匂いか）
- ・エンジンをかけた状態で異常、異音、異臭などが室内に伝わってこないか

を確認しましょう。